

2024年9月18日

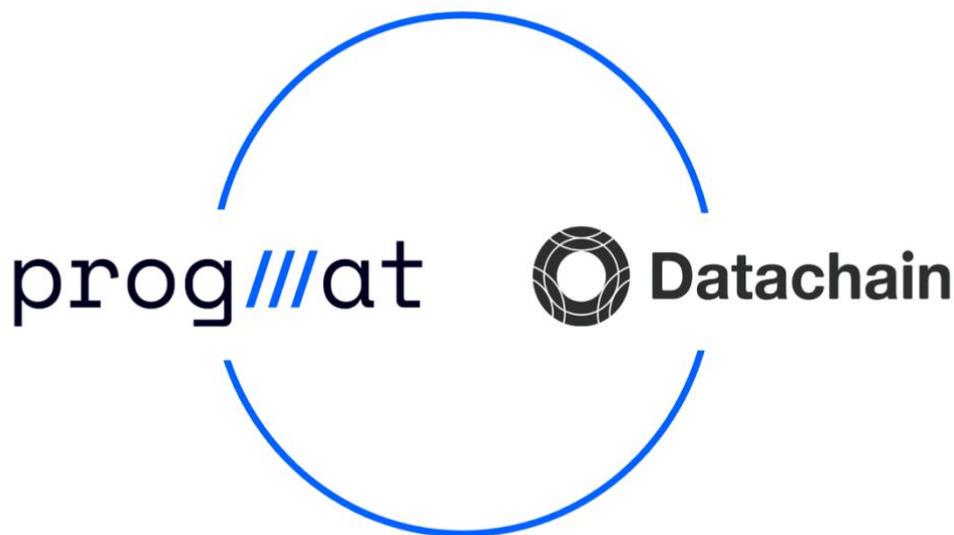
Progm at, Inc.  
株式会社 Datachain

## ステーブルコイン決済プロダクトが実運用向け開発フェーズへ クロスボーダー送金に加え、国内送金・個人間送金へも対応

Progm at, Inc. (代表取締役：齊藤達哉、以下 Progm at) および株式会社 Datachain (代表取締役：久田哲史、以下 Datachain) は、Progm at が提供する「Progm at Coin 基盤」を用いて発行予定のステーブルコイン (以下 SC) を活用した決済プロダクトが、実運用に向けた開発フェーズへ移行したことをお知らせいたします。

これまで、Progm at と Datachain は、SC 基盤の共同開発 \*1 や、Swift の既存 API フレームワークを用いたクロスボーダー送金基盤構築プロジェクト「Project Pax」\*2 等において、強固なパートナーとして SC 事業を共に推進してまいりました。

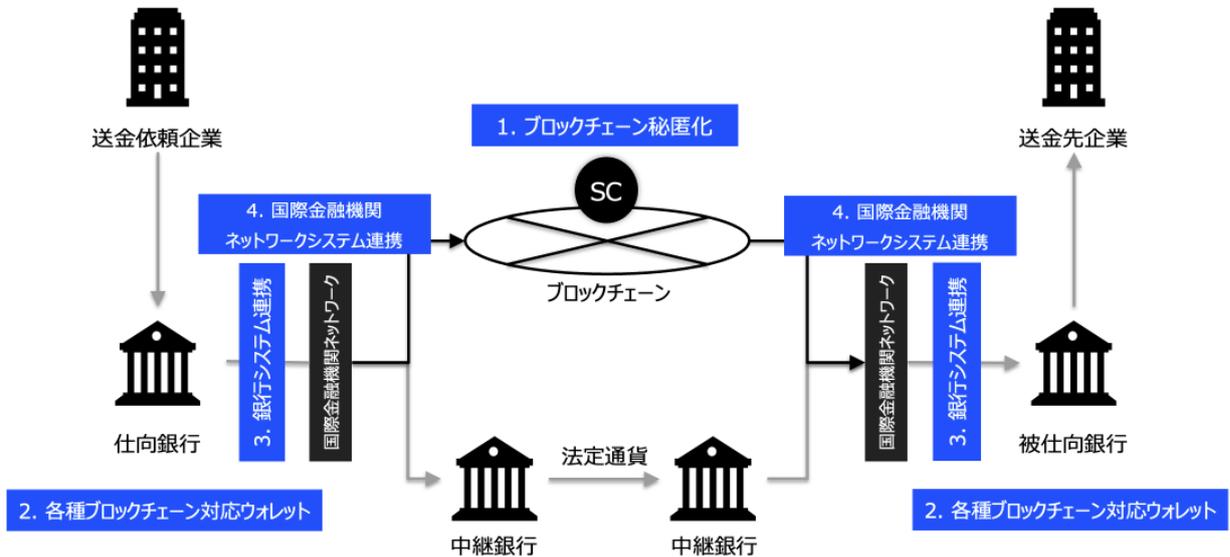
今回発表の SC 決済プロダクト (以下、本プロダクト) では、クロスボーダー送金に加え、将来的には国内送金や個人間送金にも対応する方針です。Progm at が提供する「Progm at Coin 基盤」発行の SC と、Datachain のブロックチェーン技術を中心とした豊富な技術的知見を組み合わせることで、より多様な需要に対する価値提供を目指してまいります。



### 1. SC 決済プロダクトについて

本プロダクトでは、初期ユースケースとして、「Project Pax」におけるクロスボーダー送金に必要な機能の開発を進めています。技術検証やプロトタイプ開発を経て、2025年の商用化に向け、実運用を見据えた開発フェーズへと移行いたしました。

具体的な開発対象については、以下のとおりです。



開発対象	詳細
1. ブロックチェーン秘匿化	「Progmatic Coin 基盤」が対応する複数のブロックチェーンのうち、国際送金等機密性が重要なユースケースに対応する場合における、ブロックチェーン上の履歴を不特定の第三者から秘匿化するための開発
2. 各種ブロックチェーン対応ウォレット	各種ブロックチェーンに対応するためのウォレット（SC を管理するためのアプリケーション）
3. 銀行システム連携	銀行システム及び上記ウォレット(2)と国際金融機関ネットワークとのシステム連携
4. Swift 等の国際金融機関ネットワークとのシステム連携	銀行システムと国際金融機関ネットワーク、国際金融機関ネットワークとブロックチェーンを接続するためのシステム連携

これらの機能を実装し検証することで、AML/CFT や規制対応を含む、実務的な課題に対処した SC によるクロスボーダー送金を実現してまいります。さらに、国内送金や個人間送金への対応も速やかに進め、個人向けウォレットなど、追加で必要となる機能の設計および実装に取り組んでまいります。

## 2. ターゲット市場について

クロスボーダー送金市場は、2022 年時点で 182 兆ドル（約 27,300 兆円）という膨大な市場規模を誇っています。この数字は取引金額の規模を示していますが、取引事業者の売上限定した場合でも、2023 年には 1,836 億ドル（約 27 兆円）と推定されており、依然として非常に大きな規模です。また、国際取引の増加に伴い、この市場は年平均成長率（CAGR）7.43%で拡大し続けています。

法定通貨の流通量に対して、SC の流通量は 0.5%程度と推定されています。また、その多くは暗号資産や DeFi（分散型金融）などでの利用に留まっています。今後 SC を活用した送金ソリューションが法人や個人などの実社会へと拡張することで、さらなる成長の可能性が期待されます。

クロスボーダーの個人間送金についても、グローバル化の進展と共に需要が増加しています。例えば、クロスボーダー送金新興 Wise の 2024 年 3 月期年次報告によれば、個人間のクロスボーダー送金額は 872 億ポンド（約 16.6 兆円）と大規模であり、前年同期比で 14%の成長を記録しています。

Progmatt、Datachain では、これらの膨大かつ成長著しい市場において、SC 関連法への対応に加え、会計・税務の観点でも対応し、さらに現場のオペレーション等の顧客体験に即したプロダクトを提供することで、高速かつ安価という価値を提供してまいります。

※市場規模の算出において、1US ドル=150 円、1 ポンド=190 円として算出しています。

以 上

\*1) 詳細はこちらをご覧ください: [https://progmatt.co.jp/press/pdf/press240531\\_01.pdf](https://progmatt.co.jp/press/pdf/press240531_01.pdf)

\*2) 詳細はこちらをご覧ください: [https://progmatt.co.jp/press/pdf/press240905\\_01.pdf](https://progmatt.co.jp/press/pdf/press240905_01.pdf)

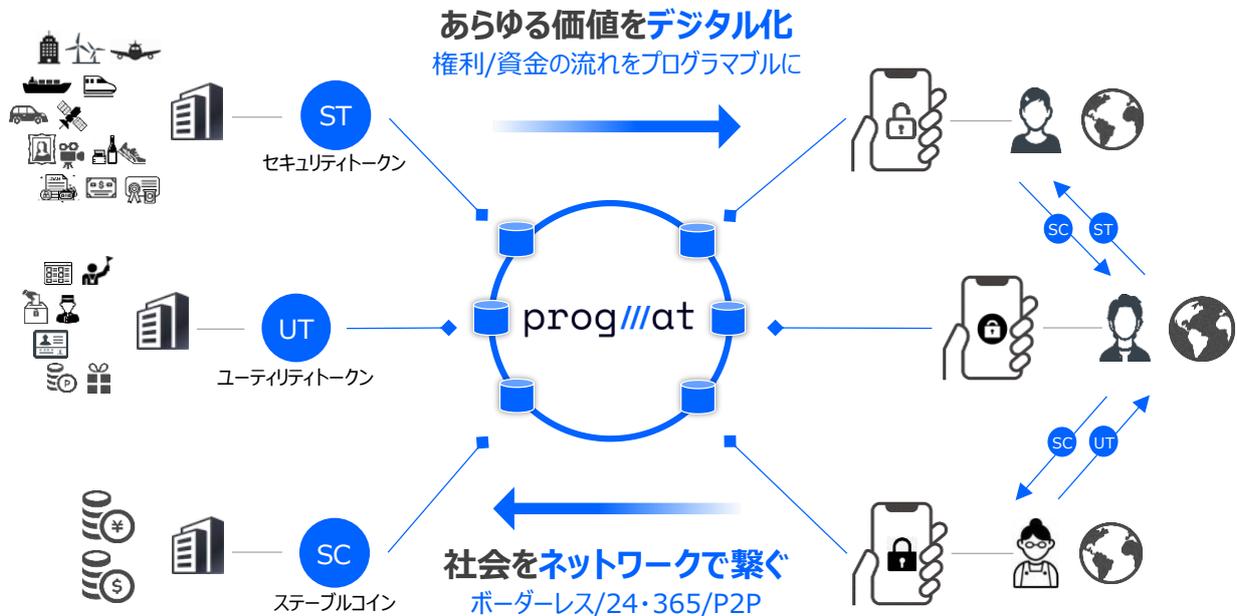
<別紙>

◆ 「Progmatic (プログマ)」について

Web サイトおよび解説記事を公開しておりますので、以下 URL からご覧ください。

Web サイト : <<https://progmatic.co.jp/>>

解説記事 : <[https://note.com/tatsu\\_s123/n/n03a291fa52ab](https://note.com/tatsu_s123/n/n03a291fa52ab)>



◆ 「Progmatic Coin (プログマコイン)」基盤について

「Progmatic Coin」基盤は様々な SC を発行・管理するためのインフラです。

資料を公開しておりますので、以下 URL からご覧ください。

資料 : <<https://speakerdeck.com/progmatic/sc>>

解説記事 : <[https://note.com/tatsu\\_s123/n/n406e5cfa9f1c](https://note.com/tatsu_s123/n/n406e5cfa9f1c)>

